奨学金「てとて」募金

奨学生からのメッセージ

これまでに支援した奨学生は**413人**にのぼります

いよいよ高校生活も最後の年になりました。

進学する人もいれば、就職する人もいて、みんなそれぞれの道へ進もうとしています。

私は調理の専門学校へ進むことも考えましたが、家庭の事情もあり、ひと足早く社会に出て、飲食店で働くことに決めました。いろいろな人と出会い、経験を積みながらお金を貯めて、いつか自分のお店『バル』を開くのが夢です。

今は学校では、食物検定一級に向けてフルコースの実習に取り組んでいます。メニューは自分で考えるので、味や見た目、食材選び、調理の技術、さらに時間内に仕上げることなど、すべてに気を配る必要があり、とても大変です。今の課題は、後片付けが少し間に合っていないこと。調理の時間をもう少し短縮できるよう、練習を重ねていきたいと思っています。

将来は、お客様に「見て楽しく、食べておいしく、心がほっとする」ような料理を届けられる人になりたいです。

5月にあった障がい者水泳大会に出場して、メダルをもらうことができました。大会前に1回しか練習ができなかったので思うような結果ではなかったのですが、次は今回よりも良いタイムで泳げるようにたくさん練習しようと思います。

高校2年になって、勉強も難しくなったり、進路のことも考えたり、大変なこともありますが、今年もいろんなことに挑戦してみたいです。

2学期も終了し、だいぶ学校にも慣れてきました。僕は学校で車椅子を修理する部活に入っています。僕が修理した車椅子で誰かが笑顔になってくれると思うと、意欲が湧いてきます。

僕は将来、車をデザインする仕事に就きたいと考えています。僕がデザインした車に乗る人たちを笑顔にしたい、部活で感じる思いは、そこに繋がっていると思います。将来の夢を叶えるためにも、勉強に励みたいと思います。

ボランティア受付

ゴールデンウィークに、能登半島地震のボランティアに行ってきました。

テントで寝る、食事はレトルトを持参しました。お風呂は銭湯。長靴・手袋を持っていき、廃棄材などを処分したり力仕事が多かったですが、被災された方は、この地震の事は決して忘れないで欲しいとお話してくださいました。まだまだ大変な中、私たちを激励してくださり、毎日クタクタになり大変だったけど、かけがえのない時間を得ました。また来年もお手伝いしたいです。

私は被災地を見て悲しい気持ちになりましたが、沢山の人が支え合い励まし合い、そして頑張る人がいます。私にできることは少ないけれど、これからも機会があれば支援に伺いたいと思いました。

僕はラグビー部に所属していて、この夏、市内リーグと合宿がありました。僕のチームは1年生メインとなっており、まだまだ若いチームで、2年の僕はみんなを引っ張る存在でもあります。市内リーグでは強豪のフィジカルに圧倒され、顧問の先生も怒るほど試合とは言えないものでしたが、合宿を終えて、チームに熱いものが産まれ、雰囲気が変わったとものすごく感じました。

僕たちのチームはフィジカルも弱く、メンタルもスキルもまだまだです。2、3年後には全国高専大会で優勝を目指すチームです。これからももっと成長していきます。

私は今、進学か就職で揺れています。勉強は好きですが、経済的に厳しく、一旦就職して、数年後に進学しようかと考えています。

そのため、今後も継続的に勉強を続けていきたいです。

私は最近新しいバイトをはじめました。そこでは海外からのお客様が多く、英語を使う場面がたくさんありました。特に中国と韓国から来るお客様が多く、セルフレジのみの店なので接客にてこずりました。私は、もともと英語でのコミュニケーションは得意で、接客の時に実践的に使うことができてとても嬉しいです。

もっとお客様とのコミュニケーションを上手くとれるように英語のスキルをもっと高め、英語以外にも中国語と韓国語を勉強してみたいと思いました。こうしてアルバイトでも実践的に語学の勉強ができることで自分のモチベーションにもなりますし、前向きな目標が設定できました。

私は最近、高校の総合探求という活動を頑張っています。私のグループでは「ビニール傘の廃棄量を減らす」というテーマを掲げ、探究活動をしています。私の学校では持ち主の見つからない傘が玄関に山積みになってしまっています。そこで、学校で廃棄になる予定だった傘を地域の駅で貸し出すことができないかと考えました。駅長さんへの許可取りから始まり、いい運営方法を考えながらなんとか設置させてもらうことができました。実際に1か月間、傘の貸し出しをしてみて、問題点からより良い運営方法を考えることができました。やはり考えるだけでなく行動することで得られることはたくさんあるなと実感しました。

2月にはプレゼンがあるので、もっともっと頑張っていきたいと思います。

この冬休みは、何か特別なイベントがあったわけではありませんが、家族との時間を大切に、穏やかに過ごすことができました。母と一緒にパンを焼いたり、クリスマスにはケーキを手作りしたことは楽しい思い出になりました。普段はあまり家族揃って過ごすことが難しいため、今冬は充実した時間を持てて幸せです。

もうすぐ2年生になり、勉強内容もより難しくなっていくと思いますが、支えてくださる方々への感謝を忘れず、一歩ずつ努力を重ねていきたいです。

奨学金「てとて」集中募金　9月

使途 (一財)コープこうべ奨学金財団を通じ、事業エリア内に居住する高校・高専並びにこれに準ずる学校在籍の生徒を対象に奨学金給付

2025年度募金額

655万5236円